

296 中央大学武道大会

〔『法学新報』第21卷11(248)号 明治44年12月1日〕

○中央大学武道大会 金風老葉を掃ふて秋氣漸く高く肥馬郊野に嘶き壮士脾肉の隆起を嘆するの時に際し去る十月二十二日を卜して中央大学は其第六回武道大会を校内に開催したり当日は剣道試合場を第十七号室に柔道試合場を第二十三号室に設け来会選手は東京帝国大学、早稲田大学、慶応義塾、明治大学、日本大学、東京高等師範学校、第一高等学校、高等商業学校、高等工業学校、東京外国語学校、東京美術学校、東洋協会専門学校、東京府師範学校、埼玉県師範学校、講道館、有信館、第一中学校、附属中学校、独逸協会学校、早稲田中学校、錦城中学校等にして午前九時より校内の紅白勝負を挙行し午後より柔道は三船久蔵、大角桂巖、宮川一貫、内田作蔵、徳三宝、山田敏行等諸師審判の下に他校選手と三本勝負を開始し清水礼三は美術の川島と引分け橋爪礼三は東師の柳井と引分け高師の納富は

一高の小川と引分け朝川邦雄は独協の本橋を大腰にて破り山田は東協の本間のために大外刈にて敗られ梶尾は外語の藤江の大腰に敗れ東師の山崎は埼師の田尻と引分け神崎四郎は日大の猪飼を捲込にて破り小泉素彦は埼師の早船を膝車にて破り東師の井上は高農の園田を腰投にて破り早中の吉田は東師の館を背負投にて破り井上敏夫は高師本田の足車に敗れ白藤は東師の野口と引分け織田は高輪平川の大外刈に敗れ小西銈は高師江頭の腰投に敗れ美術の渡辺は東師上杉の背負投に敗れ望戸卓児は講道館近藤の腰投に敗れ和田は講道館水野の押込みに敗れ坂本誠吉は独協の高橋と引分け藤井知一は講道館駒沢の跳腰返しに敗れ講道館の大概は高輪の竜口の腰投の返しにて敗れ初山静太郎は講道館竹花の跳腰に敗れ宮谷四郎は錦城石黒の背負投に敗れ農大の赤塚は講道館吉田の跳腰に敗れ独協の武田は附中の大後と引分け種田四郎は東協の坂上を体落しにて破り伊地知三郎は錦中富田の腰投に敗れ附中の荘は水産の松尾と引分け奥田英雄は一高高川の大外刈に敗れ袋野元一は一高西村の跳腰に敗れ門田次郎吉は講道館小溝の大外刈小内刈に敗れ渡辺求は錦中千葉の袈裟固に敗れ川崎亥之吉は深田道場の佐倉と引分け独協の繁田は深田道場長瀬の跳腰に敗れ嘉納塾の渡は早中清島の大内刈に敗れ附中の駒井は独協安保の背負投に敗れ講道館の菅原は高農坂田の腰投に敗れ商船の小島は講道館菅原の釣込に敗れ早大の山本は水産の石切山の大腰に敗れ外語の森田は講道館の竹本と引分け深田道場の阿部は講道館柳沢の大腰に敗れ河野虎吉は講道館亀井の押込に敗れ中川藤平は東協の谷口を押込にて破り

山本信一は高商市岡の大外刈に敗れ講道館の大沢は一高の小倉を大内刈にて破り大沢竜雄は独協宮尾の跳捲に敗れ片山国男は講道館の鶴淵を押込にて破り是にて段外の勝負を終り小野(康)初段対金野初段投之形、浦井二段対寺田初段の固之形、丹波三段対辻二段の極之形、丹波三段対山本の柔之形、宮川四段対山田師範の後之先あり体育部長太田講師登壇来賓に謝辞を述へて後部員に懇篤なる訓示ありて有段者の勝負に移り庄司初段対帝大山口初段は山口の勝に帰し金野初段対講道館酒井初段は酒井の足払に敗れ高木初段対慶応土谷初段は跳捲及大外刈にて高木の勝小野(康)初段対明大難波初段はメにて難波の勝早大苦米地初段対講道館吉尾初段は大外刈にて苦米地の勝慶応徳永初段対深田道場長瀬初段は捲込にて長瀬の勝寺田初段対講道館小川初段は横捨身にて寺田の勝外語尾阪初段対講道館坂本初段は引分け大津初段対深田道場上原初段は釣込背負投にて大津の勝慶応清水二段対早大真山二段は内股にて清水の勝講道館高島二段対嘉納塾橋本二段は大内刈にて橋本の勝早大久米二段対講道館藤田二段は引分け高商太田初段対講道館渡辺初段は押込にて渡辺の勝浦井二段対講道館児玉二段は引分け辻二段対嘉納塾橋本二段は大内刈にて橋本の勝丹波三段対講道館山崎三段は大内刈跳捲にて見事に丹波の勝となる常例として大会毎に新進勇猛の士に請ひ中央組を造りて五人掛りを為し来り何時も中央組の勝利に帰せしか今回は有名なる三段中野正三氏を招請するに決し其快諾を得たるか愈々此五人掛を為すこととなり先つ小野(庄)初段組附しも内股にて倒され次に大津初段は足払にて倒され久

米二段は跳腰にて倒され辻二段も奮闘して遂に跳腰に倒され最後に浦井二段出て力戦せしも跳捲にて倒され中野三段の全勝に帰して終りを告げ審査の結果芸術最も優良なるは一等中野三段二等丹波三段と以下夫夫判定せられ優勝者に賞品の授与ありて散会を告げしは午後八時なりし

剣道も午後より根岸信五郎、山里忠徳、佐藤義遠、中山博道、鈴木鉄蔵、吉浦宴正、市川宇門、今泉来蔵等諸師審判の下に他校選手と三本勝負を開始し小野康対園芸の綱沢は小野横面及胴を得て勝広瀬敬三対独協今井は面及小手を得て今井の勝服部信三対独協伊沢は小手を得て伊沢の勝星野為雄対外語椎名は胴を得て星野の勝村木松次対海城の伊藤は小手及面を得て伊藤の勝独協の本間対攻玉の笹森は一勝一敗にて引分け大前寛明対明大尾藤は面及小手を得て大前の勝独協佐野対錦城平井は小手及突にて佐野の勝独協佐伯対錦城広瀬は胴及小手を得て佐伯の勝後上敬之対早中須賀は小手を得て須賀の勝高柳対東中白須は胴及突にて白須の勝石井昌次対独協森口は面を得て森口の勝星野為雄对有信の山田は横面及面を得て山田の勝寺岡素対錦城長倉は面を得て寺岡の勝麻中小野対海城三浦は面及胴を得て小野の勝瀬戸口操対錦城金子は胴及面を得て瀬戸口の勝木村良弼対東師増子は一勝一敗引分け佐々木良三対日大猪野毛は面を得て佐々木の勝独協森口対麻中浅見は面及小手を得て森口の勝独協今井新方の勝高野直一对商船清原は小手及面を得て清原の勝帝大松浦対高農飯田は小手を得て飯田の勝高山卓郎対麻中河野は小手

を得て河野の勝立松虎之助対一高渡辺は面及小手を得て渡辺の勝玉虫貞助対一高井戸は面を得て井戸の勝明大笠原対海城白山は面を得て笠原の勝早大森木对有信大井は胴及小手を得て大井の勝高柳対東中稲葉は胴及面を得て高柳の勝海城伊藤対明大車田口は小手を得て伊藤の勝小田切親憲対慶応矢飼は面を得て矢飼の勝久保田貞二対水産吉安は胴及小手を得て久保田の勝伊藤泰文対日大金谷は胴及小手を得て伊藤の勝福島対高農村上は胴及小手を得て福島は勝坂本重雄対高商中山は胴を得て坂本の勝外語の佐藤対美術山中は面を得て佐藤の勝宮地文吾対早大山内は胴を得て山内の勝高商川村対商船大久保は胴及小手を得て大久保の勝美阪翁助対美術藤吉は胴及横面を得て美阪の勝上村憲三対早大黒川は胴を得て上村の勝長山三郎対慶応島田は胴を得て長山の勝播摩運宜対商船藤田は小手を得て播摩の勝三富浜太郎対水産沼野は面を得られしも横面及面を得て三富の勝沖津有喜世対早大信太は小手を得られしも二たひ面を得て沖津の勝一高羽部対外語菊竹は胴及面を得て菊竹の勝武藤秀三対早大木村は一勝一敗にて引分け三富対高商松永は面及小手を得て三富の勝東協草野对有信大島は小手及面を得て大島の勝宇野良之助対一高山口は胴を得られしも胴及面を得て山口の勝一高富田対早大山崎は面を得られしも二たひ胴を得て富田の勝有信の堀越対高工森は面を得て森の勝武藤対高商伊沢は面を得られしも二たひ小手を得て武藤の勝沖津対明大高野は面を得られしも胴及面を得て高野の勝有信の上田対高工田名部は胴を得て上田の勝湯之川国左右対東協山口は胴及横面を得て湯之川の勝遠山沢次郎

対錦町警察署近藤は小手及面を得て遠山の勝沖津対慶応竜岡は  
胴を得られしも突及横面にて沖津の勝に帰し夫れより湯之川国  
左右対帝大の雄将吉植庄亮の激戦あり一勝一敗勝負遂に決せず  
して引分け有信館山中对帝大野村は横面を得られしも二たひ小  
手を得て野村の勝神田警察組合中に鏘鏘の名あるものは内山千  
太郎其人にして又本学校友にして帝大学生たる水野秀は勇名斯  
界の冠たり今や両雄相對し奮闘数合水野先づ面を得次て内山も  
亦面を得最後に水野の突撃効を奏して勝を得たり野村益雄は帝  
大の雄将なり本学の矢沢謙之を迎へて一戦胴を得られ再起善く  
闘ひ得意の面を得たりしも決戦にて武運拙く再び胴を得られて  
遂に敗に帰したり夫れより部長太田講師登壇来賓に謝辞を述べ  
て後、懇篤に部員に訓示する所あり橋本久米次郎氏は長谷川英  
信流の居合を演し中山博道先生及中野雄司氏は神道夢想流棒術  
乱れの形を演せられ吉浦先生対今泉先生及梅川先生対市川先生  
の模範試合あり了りて各校選手の一本勝負を為し優勝者は一等  
早稲田中学校須賀藤五郎二等東洋協会専門学校山口正賢三等早  
稲田大学山内毅四等中央大学坂本重雄五等海城中学校伊藤友松  
の五氏にして部長より夫夫勝者に賞品を授与して散会を告げた  
るは午後八時なりし(部員報)